

# うちのおばあちゃん

北方 野口 和子

「ヨイショ」のかけ声をかけながら「えぐも」に通い始めて早いもので二年目になるうとしています。

思えば、母の病院での療養生活が始まったのは昭和の時代から平成に代わった頃でした。足の痛みで、あちらこちらの病院を廻り、鍼灸がいいと聞けばそこへワラをも掴む思いでしたのでしよう。手術を勧められていましたが、拒み続けていました。

ある日の事、足元がふらつき膝をついた爲に半月盤を割り手術をするはめになってしまいました。それから七ヶ年というものの膝手術を三回、大腿骨折二回、軽い脳梗塞二回、ペースメーカーのうめ込み、その度毎のリハビリにと、生来の頑張りと同向きな姿勢で日常生活に支障がない迄に回復しました。

そして平成八年九月、六十年間苦楽を共にした最愛の夫と死別し悲しみにくれていた時に、友達から「えぐも」の存在を知り、現在に至っております。

毎日の生活の中で家族の手をとるような事はありませんが、一日中ベットの上で過ごす母にとって週二回の外出は、記憶力の低下が気になりはじめた私共家族にとりましては、いい刺激になっているなど感じております。といいますが、  
「えぐも」から帰った時には口も軽く、うわさ話・ちょっとした事件？世間話にと聞かせてくれます。母は自分自身で考え判断し行動するタイ



プです。私共は束縛することなく自由にしております。本人が通うのがつらいという迄お世話になるつもりです。  
私達大家族は農家で忙しい毎日を送っておりますので、たとえ週二回でも母の留守の日は心配なく野良仕事が出来ますので喜んでおります。送迎時の優しい運転手さんや職員さんの笑顔をみるたびに老人に対する態度を見習う事が多い私共です。色々な事があろうと思いますが、よろしくお願い致します。

## 平成10年度後期 家族介護教室の予定

<p>△10月▽</p> <p>高齢者福祉の動向と福祉サービス (介護保険等)</p>	<p>△11月▽</p> <p>在宅介護の実際</p> <p>1、便秘対策</p> <p>2、排泄介護</p>	<p>△1月▽</p> <p>在宅介護の実際</p> <p>1、身辺衛生(褥創、清拭、足浴)</p>	<p>△3月▽</p> <p>介護者の健康管理</p> <p>1、腰痛体操</p> <p>2、高齢者の毎日の食事</p>
---	---	--	--